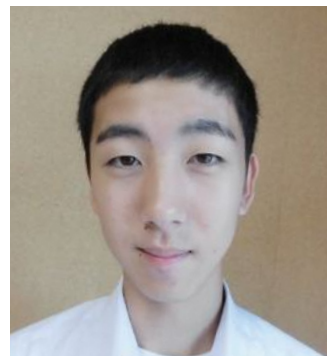




広島で平和を想う

市では、昨年度から平和学習事業の一環として、市内中学生の代表を広島平和記念式典へ派遣しています。これは、村上市の将来を担う若い人たちに戦争の悲惨さや平和の尊さを考え、理解を深めてもらうことを目的に行っているものです。今年度は7人の中学生が8月5日に広島市を訪問し、平和記念公園にある「原爆の子の像」に、市内の中学生が平和への思いを込めて折った千羽鶴を奉納。市の代表として戦争で亡くなられた子どもたちの冥福を祈りました。

翌6日に参加した74回目の平和記念式典には、世界90か国以上の代表のほか被災者や遺族ら5万人が参列。原爆が投下された8時15分には「平和の鐘」が鳴り響く中、原爆の被害にあわれた方々の冥福と世界の恒久平和の実現を祈り、参列者全員で黙とうを捧げました。式典終了後には、原爆ドームや平和記念資料館を



菅原 賢弥 さん
(山北中学校3年生)

平和の大切さ

私は広島訪問を通して、平和の大切さ、戦争の恐ろしさなどを学びました。今回学んだことを一人でも多くの人に伝え、核廃絶に貢献したいと思います。そして、争いのない平和な世界を目指していきます。



畠山 ありさ さん
(朝日中学校3年生)

多くの人に伝えたい

戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを改めて感じました。二度と原爆が使われないように、広島で起きたことをもつと多くの人に伝えていくことが必要だと思いました。そのような行動がきつと、平和へとつながるのだと思います。

特集

未来のために

私たちができきるように

〈広島平和記念式典中学生派遣事業〉



見学し、争いのない平和な世界の大切さをより強く実感しました。

●問い合わせ

学校教育課教育総務室
TEL 72・68882



本間 颯斗 さん
(神林中学校 3年生)

この広島訪問で・・・

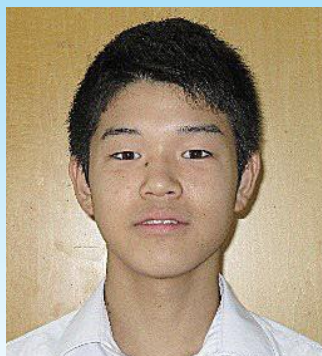
広島を訪れ、二度と戦争を繰り返さず平和であり続けるために何が必要かを考えました。日本も「核兵器禁止条約」に署名・批准することや、一人一人が心から平和を望み、それを世界に訴え続けることが必要だと思います。



大滝 一真 さん
(村上第一中学校 3年生)

原爆の恐怖を繰り返さないために

平和記念式典などで、原爆が一瞬で平和を奪うものと改めて知り、胸が苦しくなりました。世界で唯一被爆し、原爆の恐ろしさを知る日本こそ、核兵器のない平和な世界をつくることを訴えるべきだと思います。



遠藤 魁人 さん
(村上東中学校 3年生)

自分たちができることを

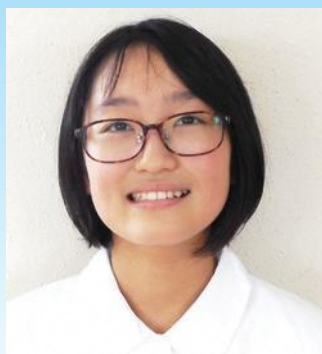
自分たちの日常は、数多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを痛感しました。平和を守るためには、人の痛みや苦しみを自分に置き換えて考えることが大切です。広島で感じたことを自分の言葉で伝えていきます。



鈴木 亜蓮 さん
(岩船中学校 3年生)

平和な世界を目指して

被爆資料や遺品から、原子爆弾の恐ろしさやその時代を生きた人たちの様子を肌で感じる事ができました。原子爆弾で犠牲となった人たちのためにも、平和な世界を目指して自分ができることをしていきたいです。



志村 亜衣 さん
(荒川中学校 3年生)

平和のために

原爆について学んだことを通して、世界の平和を強く願うようになりました。戦争のない、平和な世界をつくるためには、唯一の被爆国である日本が世界に核の恐ろしさを伝え、平和を訴えることが大切だと思います。